中京大学広報

建学の精神
学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

発行 中京大学広報部
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL（052）835-7111（代）
http://www.chukyo-u.ac.jp

学士課程教育 更なる質の向上へ

「3つの方針」を制定

入学・教育課程・学位の理念

中京大学は、より一層質の高い教育を行って、社会に有為な人材を送り出すことを目的に、二月二十四日付で、学士課程教育の「3つの方針」を制定した。

3つの方針は本学の教育の根幹となるもので、「入学者受入れの方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「学位授与の方針」で構成。それぞれの方針の柱に、本学の建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を据えている。その上で、意欲と能力を持つ者を受け入れて、総合的な知、専門的な知識・技能を修得させる教育を行い、それらを身に付けた者に学位を授与する、と明記している。

（❹面に「3つの方針」全文を掲載しています）

2009年度 卒業式

❖学部……2969人
❖大学院……120人

実社会への気概満ち

中京大学文化市民会館で行われ、3100人が巣立った卒業式

二〇〇九年度の本学卒業式は三月十九日、中京大学文化市民会館オーロラホールで午前、午後の二部構成で挙行され、学部の卒業生二千九百六十九人に卒業証書が、大学院研究科の修了生ら百二十人（博士六人、修士九十一人、専門職学位二十三人）に学位記が授与された。

情報理工学部（〇六年に情報科学部を改組）からは初の卒業生二百六十五人が巣立った。

北川薫学長は式辞で「社会は大きく変動しています。しかし、変動は皆さんの時代だけのことではありません。不安定と変動こそが普通であり、新たな時代へのステップと考えましょう」と述べ、卒業生を励ました。

梅村清弘総長・理事長も祝辞で「これからは柔軟で、伸びる力が漲る、皆さんの出番です。時代の変化に対応し、先取りする力こそ本物の力です。更に学び、励み、真の力を培ってください」と、餞の言葉を贈った。

学長賞、学部長賞などが授与された後、保護者も一緒に学歌を斉唱した。

（❷・❸面に式辞、祝辞の大要、各賞受章者名を掲載）

学長、総長・理事長が激励

主な内容

❶「3つの方針」制定／卒業式／浅田真央選手銀メダル
❷❸学長式辞／総長・理事長祝辞／各賞／副学長に安村仁志教授
❹「3つの方針」全文／新設奨学金
❺叙勲感謝の集い／FD委員会10年度行動計画／博士学位
❻理事に松原武久氏／入試志願者数／退職教員「学生に贈る言葉」
❼国際教養学部留学報告会／国際センターNEWS
❽国家試験合格者621人
❾企業セミナー／在学生学費表
❿証券ゼミナール大会優秀賞／BI伊藤清道教授「私の教育」
⓫体育会新執行部／体育会功労者
⓬⓭文化会新執行部／クラブ発表会
⓮三重中京大学ニュース
⓯同窓生名刺交換会／公開講座（杉原輝雄さん）
⓰五輪報告会・応援会／ダンス発表

● バンクーバー五輪

浅田真央選手（体育1）が銀

フィギュア五輪メダル 日本女子3個目

五輪報告会で花束を贈られた浅田選手（豊田キャンパスで）

❖安藤美姫選手（フィギュア体育4）5位
❖小塚崇彦選手（フィギュア体育3）8位
❖伊藤みき選手（モーグル体育4）12位

バンクーバー冬季五輪に本学からフィギュアスケートの安藤美姫（体育4・トヨタ自動車）、小塚崇彦（体育3・同）、浅田真央（体育1）の三選手とフリースタイルスキー・モーグルの伊藤みき選手（体育4）が出場、浅田選手が銀メダルを獲得し、安藤選手も五位、小塚選手も八位にそれぞれ入賞、伊藤選手も十二位に入った。

浅田選手の銀メダルは、九二年アルベールビル五輪の伊藤みどり選手（銀）、〇六年トリノ五輪の荒川静香選手（金）に次いで、五輪フィギュアスケートの日本女子三個目。

初出場の浅田選手は五輪女子で初めてトリプルアクセル（三回転半ジャンプ）をショートプログラム（SP）で一度、フリーで二度成功させるなど素晴らしい演技を披露した。

安藤選手はほぼノーミスの演技でトリノの十五位を、伊藤選手もトリノの二十位を上回った。小塚選手は初出場ながら四回転ジャンプを成功させて入賞した。

（⓰面に関連記事を掲載）

2009年度 卒業式

新たな航海へ

厳粛に門出を祝う　緊張した面持ちで式場を埋めた卒業生(2～4階には保護者)

卒業証書を掲げ、満面の笑み

頑張った4年間を自負、今後の健闘をお互いに誓って

式辞(大要)

学長　北川　薫

独りよがりにならず職業人の自覚、倫理を

皆さんが卒業しようとする今、社会は大きく顕著に変動をしています。しかし、変動は皆さんの時代だけのことではありません。むしろ、不安定と変動こそが普通のことと考える方が、社会情勢を正しく捉えている、と私は考えます。不安定と変動は、新たな時代へのステップと考えるべきではないでしょうか。

中京大学の建学の精神は、変動する社会への出立に際しても、普遍的な心構えを示しています。建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」は、「学術とスポーツに真剣に取り組むことで人格形成、人間形成を目指しなさい」「その大切なところはジェントルマンシップ、レディシップであり、①ルールを守る②ベストを尽くす③チームワークをつくる④相手に敬意を持つことである」と説いています。

私が申し上げたいことはまさにここにあります。第一は「自分という存在は社会とともにあり、他者とともにある」という認識を持つことです。独りよがりにならず、他人の気持ちを察する「心」と「謙虚さ」を失わないでほしいのです。

第二は「職業人としての自覚と倫理」です。仕事の領域を問わず、社会のルールを守り、自分の能力、個性を発揮してほしいのです。そのような仕事のあり方が人生を豊かにし、日本社会の信頼性を構築していくことになると思うからです。

私が永年、学生に接して感じたことを最後に述べます。それは、皆さんの多くが人生で何か意味のある仕事をしたいと願い、同時に、自分にそれができるのかと不安に思っている、ということです。そこで私が言いたいことは、「心配することはない、恐れることはない、自信を持って進んで行きなさい」ということです。健闘を祈ります。

受賞者

カッコ内は出身校)

三月十九日の卒業式で、学業成績優秀者八十八人と、課外活動で活躍した団体、個人が表彰された。

学業成績優秀者の内訳は学長賞十六人、学部長賞十六人、同窓会賞十六人、優等賞四十人。課↖

学長賞

◆文[日本文]星野愛美(三重・鈴鹿)[言語表現]浅野智穂(三重・津)
◆国際英語[国際英語]荻本祥子(愛知・旭丘)[英米文化]神谷愛弥(岐阜・大垣商業)
◆心理　伊藤麻里加(愛知・旭丘)
◆社会　渡邉佐智子(愛知・新川)
◆法　永原貴也(愛知・北)
◆総合政策　中山愛(富山・高朋)
◆経済　城田奈緒(三重・暁)
◆経営　小林俊(愛知・春日井)
◆情報理工[情報システム工]松下容輔(静岡・掛川工業)[情報知能]福嶋翼(滋賀・国際情報)[情報メディア工]内藤良太(愛知・旭野)
◆生命システム工　山本高之(静岡・掛川西)
◆体育[体育科]濱崎旦志(山口・防府)[健康科]渡辺江理(愛知・新川)

学部長賞

◆文[日本文]後藤祐輔(愛知・長久手)[言語表現]飼沼彩乃(愛知・尚陽)
◆国際英語[国際英語]長谷英恵(愛知・岡崎北)[英米文化]志賀奈月美(岐阜・東濃)
◆心理　渡辺芙奈佳(愛知・中京大中京)
◆社会　八田裕貴(滋賀・長浜)
◆法　大杉崇人(愛知・春日井東)
◆総合政策　吉村友希(岐阜・中津)
◆経済　大川明奈(愛知・桜花学園)
◆経営　恒松美保(愛知・名短大付属)
◆情報理工[情報システム工]渡邉昌平(静岡・吉原工業)[情報知能]栗山准佳(岐阜・可児)[情報メディア工]野崎昌典(愛知・尾北)
◆生命システム工　船橋幸浩(愛知・旭野)
◆体育[体育科]糸川景太(愛知・中京大中京)[健康科]安井詩乃(愛知・五条)

同窓会賞

◆文[日本文]猪野あす奈(岐阜・中京)[言語表現]青島史奈(静岡・浜松日体)
◆国際英語[国際英語]吉田有里(愛知・中京大中京)[英米文化]本村翔嗣(愛知・那覇)
◆心理　冨貴田智子(愛知・小牧南)

優等賞

◆心理　康泰花(韓国)濱野良平(千葉・高松第一)
◆社会　丸山ゆき(長野・松本美須々ケ丘)山本真利衣(愛知・蒲郡東)竹田優(愛知・刈谷北)高井麻由(岐阜・武義)今村和貴(静岡・常葉学園橘)藤井美帆(愛知・春日井)
◆法　赤間雅彦(宮城・白石)神谷早紀(愛知・中京大中京)原田敬子(愛知・尚陽)木村香織(愛知・旭丘)中村彩華(愛知・松蔭)後藤利沙(愛知・中京大中京)
◆総合政策　宮本成泰(愛知・旭野)山口晃平(愛知・瑞陵)川瀬直樹(愛知・小牧南)
◆経済　福谷彩(愛知・桜台)小島智美(岐阜・鶯谷)榊原正基(愛知・半田東)前田健太(三重・津東)松田千明(岐阜・大垣西)渡辺洸太(愛知・御津)
◆経営　廣間隆昭(愛知・尾北)趙哲山(中国)地搗幸恵(岐阜・県立岐阜商業)河村美幸(愛知・東邦)原田知浩(岡山・笠岡↗
◆社会　久田竜哉(愛知・半田)
◆法　松森拓臣(岐阜・富田)
◆総合政策　清水孝知(岐阜・関商工)
◆経済　渡邉友紀(愛知・菊里)
◆経営　榊原幸枝(愛知・半田)
◆情報理工[情報システム工]門奈瑛樹(静岡・浜松工業)[情報知能]加藤美帆(愛知・北)[情報メディア工]長坂洋輔(愛知・大府)
◆生命システム工　谷津弘太郎(愛知・緑)
◆体育[体育科]浅岡知希(愛知・刈谷北)[健康科]加藤友亮(愛知・江南)

学業成就の喜び溢れ

祝辞（大要）

総長・理事長　梅村　清弘

皆さんは政治や経済、社会が大きく変わろうとしている中で旅立ちを迎えました。リーマンショックから一年半、わが国は国際的な地位が低下し、景気回復の糸口もつかめぬまま、更なる落ち込みも懸念されております。とりわけ雇用環境の悪化は、皆さん自身が就職活動を通して、その厳しさを体験する羽目となりました。人類史上初めて超高齢化、人口減少が同時に進行する時代を迎え、経済の縮小、衰退も避けられず、更に厳しい試練も待ち受けております。

時代の変化に対応し培おう先取りする力

いささか厳しく展望したかもしれませんが、これからは過去の経験や考え方だけでは通用せず、柔軟で、伸びる力が漲る、皆さんの出番でもあります。時代の変化に対応し、時代を先取りする力こそ、本物の力であり、皆さんも更に学び、励み、真の力を培ってください。

大学も変化に対応できなければ淘汰される時代、中京大学は学部の改組、カリキュラムの改定など、社会のニーズに対応して改革を進める一方、もう一つの学びの場である各種の対策講座を学内で開講、整備してきました。

皆さんの頑張りで中京大学は公務員合格者、国家資格取得者数で地域の私学ナンバー1の地位を占め、高校進学担当から「良くなった大学」の全国トップに立ちました。

更なる飛躍をめざし、名古屋キャンパスで図書館や管理棟を建て替える大プロジェクトを展開しております。三年後には全て完成し、新学部の開設も可能な、大きな可能性を秘めたキャンパスに生まれ変わります。

中京大学は皆さんとともに歩み、皆さんの拠り所となる大学です。これからも利用し、活用していってください。門は常に開かれております。

力こもるVサイン　惜別の寂しさ、明日へのファイト…万感こもごもに

副学長に安村仁志国際教養学部教授

4月1日就任

安村副学長

本学副学長に四月一日、安村仁志国際教養学部教授が就任する。

副学長職は〇四年制定の規程で明文化されたが、これまで空席だった。副学長の任期は学長と同一（再任可）で、安村副学長の任期は一一年三月末まで。

安村副学長は四七年生まれ、六十二歳。大阪外国語大学外国語学研究科修了。七四年本学教員となり、教養部教授、教養部長、図書館長、社会科学研究所長などを歴任。〇九年四月から本学の教育活動の質的向上を目的に設置されたFD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会の委員長を務めている。専攻はロシア教会史、ロシア語。

安村副学長は、大学の管理運営ならびにFD活動を中心に教学全般にわたって北川学長を補佐する。

輝きの

（敬称略、

↖外活動の受賞者は創立者賞十八団体（五十二人）と、理事長杯、創立者梅村清明体育会杯、同文化会杯各一団体。

また、三年生の時に公認会計士試験に合格した松本智仁さん（経済）に理事長特別賞が贈られた。

↖商業）雪島舞（静岡・磐田北）

◆情報理工「情報システム工」今井麻利衣（京都・京都女子）

◆生命システム工　中村洋輔（三重・津東）大島千尋（愛知・千種）

◆体育「体育科」橋口和恵（愛知・千種）西川孝典（愛知・春日井）入江若菜（愛知・向陽）勅使寛子（愛知・高蔵寺）山本雅子（愛知・五条）古久根幸希（愛知・碧南）林亜紀（愛知・菊里）藤本尚紘（滋賀・長浜北）

創立者賞

◆大学祭実行委員会▼豊田委員長　藤田倫久（生命システム工・静岡・浜松日体）

◆体育会▼幹事長　浅井亮二（体育・愛知・五条）

◆文化会▼幹事長　大杉崇人（法・愛知・春日井東）

◆体育会▼陸上競技部　北山慎一（体育・鳥取・倉吉総合産業）佐藤享（体育・神奈川・小田原城東）服部辰也（体育・愛知・愛工大名電）江島成美（体育・熊本・熊本西）奥寳子（体育・徳島・鳴門第一）山田絵梨奈（体育・愛知・惟信）▼水泳部　大野孝之（社会・愛媛・宇和島東）武岡辰也（体育・京都・京都外大西）箕成貴之（体育・三重・名張桔梗丘）松村彩加（体育・三重・津田学園）▼バレーボール部　清水啓輔（体育・愛知・栄徳）土屋宝士（体育・静岡・下田北）▼ソフトテニス部　宮田菜奈（社会・富山・高岡商業）宇治文哉（体育・和歌山・和歌山北）表原慶大（体育・徳島・香川西）蔵元惟子（体育・石川・金沢桜丘）山崎智帆（体育・愛知・桜台）▼スキー競技部　船渡裕太（体育・岐阜・札幌日本大学）伊藤みき（体育・滋賀・近江兄弟社）▼剣道部　矢田直子（体育・滋賀・八日市）▼フェンシング部　濱田真帆（社会・高知・高知商業）松井詩織（体育・群馬・沼田女子）▼ラグビー部　青木一晃（体育・愛知・西陵）西浦伸宜（体育・和歌山・星林）▼スケート部　茂木伸太郎（生命システム工・北海道・大麻）▼サッカー部　小林史八（体育・静岡・市立清水商業）▼準硬式野球部　佐々聖尚（社会・愛知・中京大中京）大嶺真（体育・沖縄・普天間）佐藤雅彦（体育・愛知・豊明）清水一臣（体育・静岡・榛原）千賀保孝（体育・愛知・成章）町田尚紀（体育・岐阜・大垣北）鈴木雄祐（体育・静岡・静岡）▼陸上ホッケー部　村上卓也（体育・愛知・瑞陵）荻野健太郎（体育・愛知・高槻北）▼自転車競技部　和田見里美（体育・鳥取・倉吉東）▼アルティメット部　片山雄介（体育・愛知・西春）黒野将司（体育・愛知・西春）羽地貴俊（体育・沖縄・首里）福田慧（体育・大阪・近大附属）湯本章大（体育・愛知・日進西）大久保香那（体育・愛知・天白）笹原美里（体育・京都・東舞鶴）林愛子（体育・愛知・愛工大名電）三宅佐都美（体育・岡山・倉敷中央）黒野祐介（体育・愛知・西尾）上岡愛（生命システム工・愛知・山田）

◆文化会▼書道部　中川かおり（文・山形・米沢東）松浦舞（文・愛知・小牧南）

団体賞　理事長杯

◆水泳部男子・女子

創立者　梅村清明　体育会杯

◆伊藤みき（スキー競技部）

創立者　梅村清明　文化会杯

◆ギターアンサンブル

理事長特別賞

◆松本智仁（経済・愛知・春日井）

社会に有為な人材を育成

学士課程教育における「3つの方針」

全文

(❶面に本記)

本学が二月二十四日付で制定した「学士課程教育における『3つの方針』」は、教育課程の編成・実施、学位授与のそれぞれの過程における本学の方針と決意を社会に公表したものである。

社会に有為な人材を送り出すために、入学者受入れ、社会に公表したものである。

入学者受入れの方針

幅広く学び基礎学力を有し自己研鑽に励む意欲ある人

中京大学の建学の精神は、「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」という言葉をその真髄としています。

これは、大学生活を通じて学問や科学と真摯に向き合い、高度な教養を獲得させること、またスポーツの面では心身の健康増進を図るとともに、競技力を向上させていく資質や実践力を培い、それを通して人間力を高めようとするものです。

この建学の精神は、本学の草創期が商学部と体育学部の二学部体制であったことと深くかかわっていますが、その理念は十一学部を擁する現在も連綿と受け継がれています。幅広い教養を備え、他者と協力・協働する実践力をもつ豊かな人間性を育むことを土台に、高度な専門的力量を有する人材を輩出する努力を絶え間なく追求しています。この建学の精神に照らし、中京大学は以下に挙げるような意欲と能力を持つ人を広く求めています。

- ●高等学校等において教科・科目を幅広く学び、大学での学習に必要な基礎学力を有している人
- ●学習活動・各種技術の習得・文化活動・芸術活動・スポーツ活動において自己の研鑽を積み、実績を挙げている人
- ●積極的に学ぶことにより、幅広い教養を身につけ、また、高度な専門性を追求する意欲をもつ人
- ●研究活動や課外活動、学生生活を通じて、これからの世の中で必要となる知識と能力を身につけ、将来、社会の一員として大きく貢献する意志と意欲を持つ人

教育課程編成・実施の方針

将来の目標に合わせた履修コースを設定、実践能力も

各学部・学科が定める「人材の養成に関する目的・教育研究上の目的」に基づき、本学に在籍するすべての学生に教養的知識を供する「全学共通科目」と、各学部・学科において専門的知識を供する「学部固有科目」を大きな二本の柱としてカリキュラムを編成します。

- ●「全学共通科目」は、幅広い視野を育成し、多面的・論理的思考力とコミュニケーション能力を培い、総合的な知を身につけることを目的とする。
- ●「学部固有科目」は、専門的な知識と技能を身につけ、社会の変化や技術の進展に対応しつつ、課題を解決する能力の育成を目的とする。
- ●将来の目標にあわせた履修コース・モデルを示しながら段階的・体系的なカリキュラムを編成する。

また、知識や技能の教育のみならず、建学の精神に定める四大綱にもとづいて、社会人として最も大切な人間教育を行います。

(1)社会のきまりやモラルを大切にする心を育成する(ルールを守る)
(2)目標に立ち向かうチャレンジ精神を育成する(ベストを尽くす)
(3)協調性と社会性を身につける(チームワークをつくる)
(4)他者の存在や意見を尊重する(相手に敬意を持つ)

中京大学では、総合大学としてのスケールメリットを活かし、各自の興味に従って学部横断的に異分野の科目を履修することにより、幅広く学習を進めることができます。さらに、正課外教育においても、社会貢献・国際・キャリア・資格取得などをキーワードに各種プログラムを設定し、実践的な能力向上を支援します。

また、各学部・学科においては「人材の養成に関する目的・教育研究上の目的」から、それを修得する素養を持つ人を求めています。具体的には、各種入学試験要項において、出願資格および試験科目を指定し、高等学校課程段階までに学ぶべき基本的な事項を示しています。それらの教科・科目を修得しており、各学部・学科においてそれを土台に学びを昇華させる意欲ある人を望みます。

学位授与の方針

専門知識に加え、建学の精神を体得、社会に寄与する者

本学の使命は有為な人材を社会に送り出すことにあります。建学の精神に定める四大綱「(1)ルールを守る、(2)ベストを尽くす、(3)チームワークをつくる、(4)相手に敬意を持つ」の体得者は「個人としても、家庭人としても、社会人としても、国民としても、世界人類の一人としてもまことに望ましい人間である」と謳っています。

中京大学では、これらの四大綱を体得し、さらに、各学部の「人材の養成に関する目的・教育研究上の目的」に基づく教育課程において学習し、厳格な成績評価を経て、それを満たす以下に挙げる能力を身につけた者に対して学士の学位を授与することとします。

- ●専門分野における知識と技能を備え、科学的・学問的な視点から事象を捉えることができる。
- ●専門以外の分野に関する体系的な知識や素養を身につけている。
- ●修得した知識や技能にもとづき、自らが発見した新たな課題を解決できる。また、未来について創造的な考え方を発信することができる。
- ●社会生活を営む上で不可欠な「読む」「聞く」「書く」「伝える」言語力、他者と協調して目標実現へと導くコミュニケーション能力とリーダーシップ精神を身につけている。

本学の卒業生には、新たな課題を解決する論理的思考力を有し、社会の一員として、他者と協調して社会の発展に寄与できる人材となることが期待されています。

◆　◆

「給付奨学金」「緊急支援奨学金」などを新設

本学は、経済的な理由で学業の継続が困難な学生の支援拡充を目的に、「給付奨学金」と「緊急支援奨学金」の制度を新設し、一〇年度から適用する。また、災害被災家庭支援の奨学金制度を整備し、新たに「災害支援奨学金」制度を設ける。

給付奨学金は、両親ら学費支弁者の年間所得(控除後の所得)が二百九十九万円以下で一定の成績を修めている学部学生(二―四年生)が対象。六月と十月に募集し、所得が低い順に一定の枠内で一人五十万円(年額)を支給。次年度も申請可。

緊急支援奨学金は、保護者ら家計負担者の失業、倒産などによる家計急変者の学生(学部生、大学院生)が対象。一人五十万円(年額)を支給する。

災害支援奨学金は、学費支弁者らの住居が火災や風水害などの被害に遭った学生(学部生、大学院生)が対象。一定の予算内で一人二十万円(年額)を支給する。

これらの制度新設に伴い、これまで経済困窮者を対象に設けていた貸与の奨学金制度は、「貸与奨学金」と名称を変える。また、緊急時奨学金制度は廃止する。

梅村清弘総長・理事長 旭日重光章 受章

各界に感謝の集い

870人が出席

本学園は、一月二十八日、梅村清弘総長・理事長が〇九年秋の叙勲で旭日重光章を受章したことを、各界の皆さんに感謝する集いを、名古屋市西区のホテルで開催した。

教育、経済、官界、スポーツ界など幅広い分野から八百七十人が出席。北川薫学長（学園理事）が「皆様に感謝の気持ちをお伝えするために会を催しました」と挨拶した。

謝辞を述べる梅村総長（右は妻の恵子さん）

室伏選手（左）から墨絵を贈られる梅村総長

来賓を代表して、森喜朗元首相（日本体育協会会長）、御手洗康放送大学学園理事長（元文部科学省事務次官）、岡田邦彦名古屋商工会議所会頭（J・フロントリテイリング会長）の三人が、「これからも私学の振興、教育、文化、スポーツの発展に尽くしてほしい」、「大学経営は大変難しい時代。改革を重ねてきた梅村さんの活躍に期待している」などと祝辞を述べられた。

祝辞を頂いた来賓代表の方々

森喜朗　日本体育協会会長（元首相）

御手洗康　放送大学学園理事長

岡田邦彦　名古屋商工会議所会頭

「更に社会に寄与したい」

梅村総長が謝辞・決意

梅村総長は妻の恵子さんとともに祝辞を受け、謝辞で「受章は皆様のお陰です。受章を機にさらに教育を通して社会に寄与できるよう頑張っていく覚悟です」と、感謝の気持ちとともに決意を述べた。

自筆の墨絵を贈り祝う

室伏広治選手

鏡開きは、塩谷立衆議院議員（元文部科学大臣）、河村たかし名古屋市長、小野清子日本スポーツ振興センター理事長（元国務大臣）、鈴木礼治愛知県国際交流協会会長（元愛知県知事）、松原武久元名古屋市長、古角保中部経済連合会副会長（三菱東京UFJ銀行副頭取）、柘植康英愛知県経営者協会副会長（東海旅客鉄道副社長）、白井文吾中日新聞社会長、磯村尚徳元日本放送協会特別主幹、鈴木蔵・陶芸家（人間国宝）、梅村正昭八事山興正寺住職、室伏広治アテネ五輪金メダリスト（体育学研究科研究員）も加わって行われた。室伏選手はロンドン五輪を目指して作ったハンマーの一つを使い、祝宴に花を添えた。

室伏選手は梅村総長に「一投一念」の文字とハンマーを投げる姿を墨で描いた自筆の絵画を贈呈。卓越した筆さばきに会場から大きな拍手が送られた。

神田真秋愛知県知事の音頭で乾杯した後、和やかな懇談が続き、最後に、梅村清英副理事長（経済学研究科長）が学園を代表して謝辞を述べ、今後もよりよい教育を行って社会に貢献していく覚悟を披瀝した。

FD委の10年度行動計画

授業改善のアンケート実施

新シラバスのさらなる改善

授業公開、参観を本格的に

本学の教育の質の向上を目的に設置されたFD委員会（委員長・安村仁志国際教養学部教授＝四月から副学長）は、三つの小委員会の報告をもとに一〇年度の行動計画をまとめた。

三つの小委員会は、「『授業改善のためのアンケート』検討委員会」、「シラバス検討委員会」、「公開授業、研修機会および組織的なFD活動検討委員会」。

一〇年度は各小委員会がそれぞれ▽授業改善のためのアンケートを実施し、活かしていく▽演習科目を加えた新シラバスについて、体裁、チェック体制等を含めさらなる改善を図る▽試行的に実施、拡充した授業公開を「FD参観科目」として本格的に実施する。また、委員会全体で教育に関わる課題を全学的視野に立って議論していく。

教職員と学生が協働で教育の質向上へ

教職員と学生が協働して教育の質を向上させることを目指し、一一年度以降も発展的にFD活動を展開していきたいとしている。

「FDは大学の全ての者の《幸せ》のため」のもとに。

（FD委員会）

6人に博士学位を授与

本学は三月十九日の卒業式（学位記・卒業証書授与式）で六人に博士学位（課程博士四人、論文博士二人）を授与した。

経歴欄は順に現職（課程博士授与者の本学大学院研究科在籍は省略）、年齢、最終学歴、学位論文タイトル。

課程博士

博士（心理学）

大杉　尚之さん
28歳▽本学心理学研究科修士課程修了▽視覚的印付けにおける相対的位置表象と意味表象の相互作用

近藤　孝司さん
28歳▽本学心理学研究科修士課程修了▽S-HTPP法の基礎的研究

博士（経営学）

速水　智子さん
プラネット・システム㈲代表取締役。53歳▽共立女子大学家政学部卒▽社会起業家とソーシャル・イノベーション

博士（体育学）

周　強さん
40歳▽中国・西安体育学院大学院修了▽スポーツ分野におけるサービス品質の評価に関する研究

論文博士

博士（体育学）

高橋　繁浩さん
本学体育学部准教授。48歳▽本学体育学研究科修士課程修了▽水泳競技におけるCritical Swimming Velocity簡易推定法の評価とその応用

星川　佳広さん
浜松ホトニクス㈱スポーツホトニクス研究所。40歳▽東京大学教育学研究科博士課程単位修得満期退学▽ジュニアスポーツ選手の筋の発育に関する研究

学園の新理事に 松原 武久さん（元名古屋市長）

松原理事

本学園理事会は三月二十九日の定例会で、水谷研治理事（三月末で退任）の後任に、松原武久・元名古屋市長を選任した。任期は四月一日から水谷理事の残任期間の二〇一三年九月三十日まで。

松原氏は名古屋市長を三期十二年務め、指定都市市長会会長等を歴任。〇九年五月、総合政策学部客員教授と学園評議員に就任。学部では自治体行政の課題等をテーマに講義している。評議員は三月末で退任。

'10年度入試志願者数

（人）

学部	学科	志願者
文	日本文	604
	言語表現	722
国際英語	国際英語	1,042
	英米文化	706
国際教養	国際教養	891
心理	心理	1,512
現代社会	現代社会	2,035
法	法律	2,528
総合政策	総合政策	1,829
経済	経済	2,318
経営	経営	2,515
情報理工	情報システム工	1,048
	情報メディア工	848
	機械情報工	874
体育	体育科	3,059
	健康科	736
合計		23,267

志願者2万3267人 平均倍率は8・3倍

十月のAO入試から始まった本学の一〇年度入学試験は、三月十七日に一般入試と大学入試センター試験利用入試の各後期日程の合格発表を行い、全日程を終了した。総志願者は二三、二六七人だった。学科別の志願者は別表のとおり。

試験区分別の志願者は、AO入試一七〇人、推薦入試三、〇〇五人、一般入試一二、三三五人、センター試験利用入試七、四三三人、学園内推薦二四四人、特別入試八〇人。募集定員に対する倍率は八・三倍（全試験平均）だった。

退職教員が学生に贈る言葉

今年度も専任教員七人が三月末で定年（選択定年を含む）を迎えられ、退職する。長年、勉学に課外活動に学生たちを指導してきた皆さんに、キャンパスを去るにあたって学生たちに贈る言葉を書いていただいた。

（敬称略。カッコ内の肩書きは退職時）

忘れた後 本当の学問の効果

有本　紀明
国際教養学部教授

知らないという事と忘れたという事は違う。忘れるには学問をしなければならない。忘れた後に本当の学問の効果が残る。

これは文人内田百閒（ひゃっけん）（一八八九～一九七一）の言葉。教養というものの正体を教えてくれる。いっぱい無駄と思われる勉強もしよう。

物事の本質見る力を養おう

安原　文彦
国際教養学部准教授

世にはインターネットを始めとし情報が溢れている。この情報の海で溺れ流されぬためには、懐疑と批判の姿勢を持ち自分の頭で考えることが欠かせない。

多くの書や人と「対話」し、物事の本質を見る力を養うことは、大学生活で成すべき大切な課題である。

常に社会に目を向けよう

加川　元通
心理学部教授

膨大な国債発行、高い貧困率、年金問題等々、大変な現今の状況を改善するには政治の力に頼るしかない。その責を担う政治家を選ぶのは国民である。

社会の一員としての自覚を持ち、常に社会に目を向け、信頼できる政治家を選ぶ責任を果たして欲しい。

繰り返す間違い次々減らす

田村　浩一郎
情報理工学部教授

私が信条としてきた米国のピエット・ヘインの詩を拙訳で紹介したい。

「賢くなりたいって？
そんなの簡単だよ。
繰り返し、繰り返し、
間違えるんだ。
だけどそれを、
少しずつ、少しずつ
減らしていくんだ。」

没頭できるもの見つけよう

山本　眞司
情報理工学部教授

激しく進む技術革新の荒波の中、諸君の学ぶべき情報技術の何と多いことか！しかしそれに圧倒されることなく、一つでも良いから興味を持ってしばらく没頭できるものを見つけ出そう。それが諸君の自信に繋がり、必ずやそこから新しく展望が開けてくるはずである。

リスク恐れず新しい分野へ

鳥脇　純一郎
生命システム工学部教授

①人生難得一知己。様々の人との出会いを大切に。②継続は力なり。どんな大事も見直せば蓄積された小事が見えてくる。③リスクを恐れず、新しい分野を創り出すような仕事をしよう。パイオニアはお前だと言われるようになれば最高だ。

人生よく学びよく遊ぼう

守能　信次
体育学部教授

中世では家の中にいて何もすることがなかった。本も新聞もそれを読むための明かりもなく、人は人生の大半を戸外で活動的に過ごした。今日の多くは座ったまま人生を終える。しかし諸君こそは大いに読み、かつ外に出て体を動かそう。その基礎は大学で培われる。

受験生向けホームページ
「Net Campus」
リニューアルしました
入試情報、学部学科の教育内容、就職支援体制、資格試験合格実績などを紹介

1学期間の海外留学
学習成果、体験を発表
＝語学研修の2年生＝

国際教養学部

「海外課題研究報告会」
1年生へアドバイスも

国際教養学部は二月二十四日、〇九年度秋学期に語学留学した二年生が海外で学び、体験した内容を発表する「海外課題研究報告会」を開いた。代表の十五人がプロジェクターを使い、学習面や生活面を中心に報告。二年生八十人、一年生九十人が参加し、熱心に聞き入った。

海外課題研究は、二年生秋学期に一セメスター（一学期間）語学留学する同学部の演習科目。〇九年度はフランス（レンヌ第二大学）、スペイン（サラゴサ大学）、ドイツ（マールブルク大学）、ロシア（サンクト・ペテルブルグ大学）、中国（上海大学、蘇州大学）の五カ国に八十九人の学生が留学し、提携先の大学で語学研修プログラムを受けた。

同報告会は、①学習成果や広がった見識などを発表する、②他国に留学した学生の報告を聞き、互いに情報を共有する、③五カ月後に留学先に出発する一年生に体験談とアドバイスを伝える―ことを目的に実施された。

報告会終了後、懇親会も開かれ、教員と一緒に一年生と二年生が交流を深めた。

留学で学び、体験したことを発表する学生たち

留学して学んだこと
「考え方の違いに驚く」
「語学力の重みを痛感」

●伊藤由梨奈さん（留学先・ドイツ）
「アメリカ、エジプト、トルコなど世界各国の留学生と話し、考え方や文化の違いに驚かされた。日本の常識が他国の非常識になりかねない。他国の文化を学ぶことの大切さを感じた」

●鈴木真帆さん（留学先・スペイン）
「買い物する時や人に出会った時に積極的に話しかけることが楽しみだった。最初はほとんど聞き取れなかったが、生活するうちに徐々にスペイン語が身に付いていった」

●大森みゆきさん（留学先・フランス）
「日本の政治や宗教について度々聞かれたがうまく答えられなかった。他国の文化を学ぶ前に自分の国を知ることが大切だと感じ、それ以降は日本について考える機会が増えた」

●荒川もえさん（留学先・中国）
「留学を通して、語学はツールであると強く感じた。ルームメートと夜遅くまで様々な話題について会話したが、語学力が高ければさらに深い話もでき、もっと理解し合えたと思う」

●後藤峻作さん（留学先・ロシア）
「貧困について授業中に議論をした。日本では見えない社会の現実が、留学先でリアルに見える。今後僕たちが取り組むべき課題は、グローバルな問題なんだと改めて実感した」

セメスター留学の15人――TOEIC平均100点アップ

〇九年度セメスター留学生十五人が一セメスター（一学期間）の留学を終え、アメリカ、カナダから十二月に帰国した。

学生たちは現地の学生や世界各国からの留学生と英語の勉強に励むとともに、交流を深めて多様な文化や考え方も学び、広い視野を身につけた。

帰国した学生は全員、帰国後に行われたTOEICを受け、留学前の同試験に比べ得点が平均でおよそ百点アップ。中には二百五十点アップした学生もおり、語学力の向上というセメスター留学の目標を達成した。

体験記
相手を理解しようとする心で壁を越える
光田 侑平さん（総合政策3）

留学は自分を成長させる機会で満ち溢れている。様々な考えを持つ海外の学生と相互理解を図ることで自分の視野を広げたいと考え、アメリカのウィスコンシン大学ラクロス校にセメスター留学した。

私は一緒に学ぶ海外の学生と仲良くなるために、お互いの国の文化やそれに対する考え、将来の夢など、少し踏み込んだ話をすることで内容に魅力を持たせるよう努力した。スポーツで汗を流し、パーティーにも参加し、一緒に楽しんだ。その甲斐もあり、割と早く海外の学生と良好な関係を築くことができた。友人の輪はさらに広がり、最終的には約二十カ国、約百五十人の海外の学生と良好な関係を築くことができた。

留学を通して「言語ではなく、相手を理解しようとする心が国や地域の壁を越えて人を繋ぐ」ことを学んだ。今回の留学に快く「行って来い」と言ってくれた両親や留学をサポートしてくださった国際センターの職員、ともに留学した仲間にとても感謝している。

良好な関係を築いた海外の学生たちと肩を組む光田さん（左から3人目）

35人が出席した交流会

留学経験、卒業生と在学生ら35人交流

交換留学やセメスター留学を経験した卒業生と在学生の交流会が一月九日、名古屋市内のホテルで開かれた。

卒業生十人、在学生十四人のほか、アメリカからの受け入れ留学生二人、教職員九人も加わり、計三十五人が出席。留学時代の思い出を中心に語り合い、有意義で楽しいひと時を過ごした。

卒業生は再会した教員とも歓談し、近況を報告。恩師の心温まる言葉にお礼を述べていた。

在学時に留学した卒業生たちは、高い語学力と留学先で学んだ知識や経験を生かして、商社やメーカー、旅行代理店など、多方面で活躍している。

「留学ハンドブックmini」を配布

国際センター主催の留学プログラムに関する内容をコンパクトに紹介した「海外留学ハンドブックmini 2010」を四月から配布する。

留学希望または留学に関心のある学生は国際センターまで。

各種国家資格試験

09年度合格者621人に

資格対策講座 国家試験等合格者 (人)

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	全国平均合格率	本学合格率
行政書士	16	24	39	31	77	9.1%	59.2%
宅地建物取引主任者	204	267	232	214	239	17.9%	90.2%
社会保険労務士	6	13	23	9	20	7.6%	41.7%
国内旅行業務取扱管理者	54	52	89	95	84	37.9%	70.6%
総合旅行業務取扱管理者	39	41	55	48	30	15.1%	25.2%
通関士	20	4	3	9	2	7.8%	9.1%
ITパスポート(初級システムアド)	30	17	45	33	50	50.7%	68.5%
2級FP技能士	(未開講)	47	43	93	101	24.9%	67.3%
基本情報技術者	(未開講)	6	23	19	16	31.8%	36.4%
ソフトウェア開発技術者	(未開講)			5	1	26.1%	16.7%
公認会計士2次	1	0	0	1	1		
計	370	471	552	557	621		
公務員 (国家I種・II種/地方上級/国税専門官)	19	37	84	92	113		

注①:合格者数は資格対策講座を受講した現役学生(会計士は弘道塾利用者)を対象に集計。
注②:09年度の本学合格者数は3月1日現在の判明分。

対策講座受講生(現役) 11年連続 前年上回る 合格率も軒並み高く

学内開講の資格試験対策講座(資格センター主催)を受講した学生たち(現役)の〇九年度各種国家資格試験の結果がまとまった。

景気の落ち込みなどから資格試験に挑戦する学生が全国的に増えている中、本学は〇九年度も合格者数を伸ばし、初めて六百人の大台を超え、六百二十一人が合格した。

〇九年度試験の合格者総数は前年より六十四人多く、九九年に対策講座を開講して以来、十一年連続で前年を上回った。

行政書士、宅地建物取引主任者、社会保険労務士の各試験は、〇九年度も大学別ランキングで全国一位の合格者数を出した。

行政書士試験は七十七人が合格。愛知県の合格者(四百二十八人)の一八%を占めた。また、全国の十代の合格者(五十五人)の四七・三%(二十六人)が本学の学生だった。

宅地建物取引主任者試験の合格者は五年連続で二百人を突破。本学の学生の合格率は大半の試験で全国平均を大きく上回っているが、同試験は特に高く、〇九年度は九〇・二%(前年八三・九%)を達成した。

社会保険労務士試験の合格率も四一・七%と高水準。全国で合格した学生(七十六人)の二六・三%を占めた。

主要公務員に113人合格

国家I種3人、国家II種38人

主要公務員採用試験の現役学生の合格者も増え、初めて百人を超え、百十三人に上った。

合格者の内訳は国家I種(法文系)三人(前年二人)、国家II種三十八人(同三十四人)、地方上級職二十九人(同十九人)、国税専門官四十人(同二十九人)、裁判所事務官三人(同八人)。

地方公務員などの合格者も年々増えており、今年度は市役所などの地方公務員三十九人(前年二十一人)、警察八十一人(同六十五人)、消防三十二人(同二十八人)が合格。公務員職全体では現役学生二百七十二人(同二百十一人)を数え、過去最多を記録した。

公認会計士試験に合格

公認会計士二次試験に法学部〇八年卒の池田龍矢さんが合格した。池田さんは資格センターが管理する難関試験受験生のための学内施設「弘道塾」で在学中から学んでいた。

公認会計士試験は受験者が増える一方、合格者数の大幅削減が行われ、難易度が一段と高まったが、一次試験には弘道塾から三人が合格。池田さんは二次試験もクリアした。

秘書技能検定で成績優秀

平林純果さん(経済2)が文科大臣賞

平林さん

経済学部二年の平林純果さんが〇九年度秘書技能検定試験=(財)実務技能検定協会実施=の準一級部門で優秀な成績を収め、文部科学大臣賞を受賞した。

文部科学大臣賞は、準一級と一級の二部門を対象に春期、秋期試験でそれぞれ一人が選ばれる最高位の賞。準一級部門には〇九年度、全国で一万六千七百二人が受験した。平林さんは資格センターが学内で開講している秘書技能検定対策講座を受けて秋期試験に臨み、群を抜く高得点をマークした。

本学の秘書技能対策講座は優秀団体賞に

本学の秘書技能検定対策講座は〇九年度試験で優秀団体賞を獲得した。同講座の受賞は十一年連続。〇九年度は二千四百三十六団体が受験し、うち本学を含む六十五団体が受賞した。

総合政策学部3年生

プロジェクト研究で 2年間の成果を発表

運営も学生60人が中心に

企業の人や教員を前に発表する学生たち

総合政策学部の三年生らが「プロジェクト研究報告会」本選を一月十五日、名古屋キャンパスで開き、予選を勝ち上がった六つのゼミが企業の人や教員を前に発表した。

同報告会は、学部固有の演習科目「プロジェクト研究」で二年間学び、研究した成果を披露する場として、同学部が二年前から開催しているが、企画や運営は学生が担当。今回は過去最多の六十人で運営委員会を組織し、七カ月間かけて企画を練り、準備してきた。

運営委員会幹事の篠田一人さんは「評価基準を見直したことで、より細かく正確に評価ができるようになった」と話していた。

◇

■発表した六つのゼミの研究テーマ

▽棄権の代償―軽視される若者たち―▽にこにこアワーで元気な地域～地域コミュニケーションの復活を目指して～▽夢を栽培し隊―今、あなたの想像力で農業は変わる、変えられる―▽導入期の男性化粧品市場における拡大戦略▽「島」の自立と発展へ向けて▽クロワッサン売上拡大大作戦～経営改善プロジェクト～

中京大学企業セミナー2011

「ポートメッセなごや」

前年上回る259社

3年生延べ2,380人参加

2月3、4日

就職活動スタート！　3年生らの熱気に満ちた会場

一一年三月に卒業予定の三年生を対象にしたキャリアセンター主催「中京大学企業セミナー2011」が二月三、四の二日間、名古屋市港区の名古屋市国際展示場「ポートメッセなごや」で開催された。

多くの優良企業が参加しやすいようにと、学外の広い会場を確保して催している企業セミナーで、今年が三年目。景気の停滞で参加企業の減少や取り止めが心配されたが、東海旅客鉄道（JR東海）、西日本電信電話（NTT西日本）、東邦ガス、大林組、三井物産、INAX、花王、ホーユー、JTB中部、新日本製鐵、三井住友銀行などの各業界のトップ、優良企業を中心に、三日が百三十五社（昨年の初日百三十社）、四日が百二十四社（同二日目百二十七社）が参加し、わずかに前年を上回った。

参加企業は広大な会場いっぱいにそれぞれブースを設け、人事担当者らが学生に応対。就職厳寒期といわれるほどの厳しい状況とあって、学生たちの表情は真剣そのもので、どのブースも熱気にあふれていた。

会場を訪れた学生は三日が千三百三十二人、四日が千四十八人。「中京大学の学生だけのためにこれだけ多くの企業が参加してくれるのは本当に有難いこと。私たちも頑張らなければ」と決意を新たにしていた。

また、企業からは「非常に真面目で真剣な学生が多く、大変有意義なセミナーだった」「一大学でこれだけの規模のセミナーを開催することに驚き」（参加企業へのアンケートから）といった声が寄せられた。

セミナーの運営には今年も参加企業などに就職が内定した四年生のキャリアアドバイザーが協力した。

伊地知裕子さん（情報メ3）CG—ARTS協会賞

情報理工学部情報メディア工学科三年の伊地知裕子さんは二月一日、(財)画像情報教育振興協会（CG—ARTS協会）の協会賞を受賞した。

伊地知さんは同協会が実施した検定試験で優秀な成績を修めた。

2010年度　在学生の学費

（単位・円）

項目	年次	1年生	2年生	3年生	4年生
入学金		200,000			
授業料	法・経済・現代社会学部	745,000	745,000	750,000	755,000
	文学部	765,000	765,000	770,000	775,000
	国際英語学部（国際英語）	775,000	775,000	780,000	785,000
	国際英語学部（英米文化）	765,000	765,000	770,000	775,000
	国際教養学部	795,000	795,000	800,000	
	心理学部	800,000	800,000	805,000	810,000
	総合政策学部	795,000	795,000	800,000	805,000
	経営学部	745,000	745,000	750,000	755,000
	情報理工学部	875,000	875,000	880,000	885,000
	生命システム工学部				880,000
	体育学部	830,000	830,000	835,000	840,000
教育充実費	法・経済・現代社会学部	230,000	230,000	225,000	220,000
	文学部	230,000	230,000	225,000	220,000
	国際英語学部（国際英語）	280,000	280,000	275,000	270,000
	国際英語学部（英米文化）	240,000	240,000	235,000	230,000
	国際教養学部	240,000	240,000	235,000	
	心理学部	275,000	275,000	270,000	265,000
	総合政策学部	230,000	230,000	225,000	220,000
	経営学部	230,000	230,000	225,000	220,000
	情報理工学部（情報システム工・情報知能）	310,000	310,000	305,000	300,000
	情報理工学部（情報メディア工）	345,000	345,000	340,000	335,000
	情報理工学部（機械情報工）	345,000	345,000	340,000	
	生命システム工学部				335,000
	体育学部	300,000	300,000	295,000	290,000
体育学部特別施設設備費		50,000	50,000	50,000	50,000
実験実習費	心理学部	30,000	10,000	10,000	10,000
	経営学部	30,000			
	情報理工学部（情報システム工・情報知能）	60,000	60,000	60,000	60,000
	情報理工学部（情報メディア工）	95,000	60,000	60,000	60,000
	情報理工学部（機械情報工）	60,000	60,000	60,000	
	生命システム工学部				60,000
	体育学部	40,000	20,000	20,000	20,000
オリエンテーション実習費	文学部	6,000			
海外研修費	国際英語学部（国際英語）	280,000	370,000		
合計	法・経済・現代社会学部	1,175,000	975,000	975,000	975,000
	文学部	1,201,000	995,000	995,000	995,000
	国際英語学部（国際英語）	1,535,000	1,425,000	1,055,000	1,055,000
	国際英語学部（英米文化）	1,205,000	1,005,000	1,005,000	1,005,000
	国際教養学部	1,235,000	1,035,000	1,035,000	
	心理学部	1,305,000	1,085,000	1,085,000	1,085,000
	総合政策学部	1,225,000	1,025,000	1,025,000	1,025,000
	経営学部	1,205,000	975,000	975,000	975,000
	情報理工学部（情報システム工・情報知能）	1,445,000	1,245,000	1,245,000	1,245,000
	情報理工学部（情報メディア工）	1,515,000	1,280,000	1,280,000	1,280,000
	情報理工学部（機械情報工）	1,480,000	1,280,000	1,280,000	
	生命システム工学部				1,275,000
	体育学部	1,420,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000

Works Published

著書紹介

報道被害とメディア改革

平川宗信著

刑事法が専門の著者は、名誉毀損罪研究を契機に三十年以上にわたってメディア問題に関わり続け、市民団体・NPOの代表としてメディアへの提言、メディア・リテラシー活動、報道被害者への助言活動等を行ってきた。本書は、分かり易く、報道被害の現状・背景・構造等を分析し、人権と報道の自由の両立を目指して、市民の立場からメディア改革を提言している。

著者は法学部教授。解放出版社刊。本体一、二〇〇円。

「社会人に対する投資教育」研究

証券ゼミナール大会
入江ゼミ（経営）の4人
総合評価で優秀賞

優秀賞を獲得した入江ゼミの4人

経営学部入江恭平教授のゼミ生四人（加藤亮太さん、山田翔紀さん、山本雅美さん、横井栄佑さん＝全員三年）が十二月十二日、全日本証券研究学生連盟主催の証券ゼミナール大会で優秀賞を獲得した。

大会には二十八大学、四十二チームが参加し、テーマごとの七ブロックに分かれて、論文発表と討論で研究成果を競い合った。審査員により、論文の内容とプレゼンテーション力、討論への取り組みの三項目で評価され、各ブロックで総合評価が最も高いチームに優秀賞が贈られた。

入江ゼミ生が選んだテーマは「一般社会人に対する投資教育について」。投資教育の内容や範囲、必要性や普及の可能性などを主な論点とし、三カ月かけて研究や議論を重ね、論文を作成した。

「難しかった主張の論理構成」

チーム代表の加藤さんは「オリジナルの主張を論理的に構成していく難しさを学んだ。また他大学の違った視点からのアプローチも勉強になった。今回の経験を就職活動に生かし、柔軟性・積極性を発揮していきたい」と語った。

「大学発 ベンチャービジネスプラン」
情報メディア4年 西田 絵美さん
学生アイデア奨励賞を獲得

奨励賞を獲得した西田さん

情報理工学部情報メディア工学科四年の西田絵美さんが一月十五日、名古屋市と財団法人名古屋都市産業振興公社名古屋市新事業支援センターが主催する「大学発ベンチャービジネスプラン」学生ビジネスアイデア部門で奨励賞を獲得した。

西田さんは「商標デザイン案の自動生成システム」のプランで応募し、四十三作品の中から選ばれた。奨励賞は優秀賞に次ぐ賞。表彰式でプランの内容を業界の人たちに発表した。

プラン「商標―」は、商標の考案に必要なネーミングとロゴデザインをコンピューター処理し、名称やロゴを自動生成するシステム。商標デザインに費やすコストと時間が削減できるという。

西田さんはコンピュータグラフィックスを専門にしている宮﨑慎也教授の指導を受け、webデザインを勉強してきた。「自分のアイデアを形にでき、貴重な経験となった。卒業して社会に出ても積極的にチャレンジしていきたい」と話している。

ビジネス・イノベーション研究科 BIの教授陣
私の教育・研究

慶應義塾大学経済学部、ロンドン大学経済経営大学院（LSE）卒業。トヨタ自動車に33年間勤務。マーケティングから生産までの仕事、TKAP(トヨタインド)社長などを歴任。08年本学教員に。経営学部教授を兼任。60歳。

伊藤 清道教授（サプライ・チェーン・マネジメントなど担当）

「もう少し大学で勉強しておけばと思ったことはありませんか…」

「で、正解は何ですか」学期初めのケース討議の最後に、必ず学生が質問します。

「正解はありません」と、必ず私が答えます。

役に立たない教師ですか。でも、私たちが伝えたいのは、知識の山ではなくて、ケースを議論する中で考え、論理を組み立ててゆく技なのです。

やっぱり、大学院なんて役に立ちませんか。そんな事はない、と私は思うのです。実は、いろんな事例を議論する中で、論理を構築する回路が頭の中で育ってゆきます。それが大切。

研究科にはいろんな学生がいます。若いサラリーマンもいれば、キャリアウーマンもいるし、上場企業の社長さんもいて、それぞれの実に違った考え方がぶつかり合います。

お陰で時々学生の皆さんが「アハー（そう言う考え方もあるんだ）」と目を輝かせる瞬間があり、これこそ私たちが教師冥利に尽きる瞬間です。

私自身は全くと言っていいほど勉強しない大学生でした。ところが、その後トヨタ自動車に勤め始めると「あーあの時もう少し勉強しておけば」としばしば思ったものでした。

やがて、ひょんな事から大学でイノベーションを中心に研究する立場になりましたが、今度は研究成果を実践する場があります。人生なかなか思う様には行かないものです。

あの時、社会人大学院と言う発想があれば、人生もう少し充実したものになっていたかも知れません。

Works Published

著書紹介

中京大学企業研究叢書第16号 日本的経営とリーダーシップ
加藤 靖慶著

本書は、実務的なアプローチで考察した日本的経営の評価と、その中で必要とされるリーダーシップのあり方を論じている。日本的経営を理解するには、その根源にある日本文化に触れる必要がある。その原点の一つと考えられる農耕文化の考察からスタートし、江戸時代の商人道、経営先達に学ぶリーダーシップ、リーダーシップの実務へと展開している。

著書は経営学部教授。企業研究所刊。

A Sea for Encounters: Essays Towards a Postcolonial Commonwealth
板倉厳一郎他著

イギリス連邦におけるポストコロニアル文学やいわゆる「ブラック・ブリティッシュ」の文学、およびポストコロニアル文学研究の新しい流れを考察した論文集。板倉国際教養学部准教授はゼイディ・スミスの『直筆商の哀しみ』（二〇〇三）を論じた章を担当し、新進気鋭のカリブ系イギリ

〈11面8段目へ続く〉

第54代 体育会幹事会

任期 09年11月から1年間

幹事長・森順平（体育3）準硬式野球部▽副幹事長兼企画運営局長・久和稔浩（経済3）卓球部▽副幹事長兼編集局長・鈴木聖平（体育3）サッカー部▽広報局長兼監事・阿武美菜子（言語表現3）陸上ホッケー部▽渉外局長・各務優太（体育2）剣道部▽安全対策局長・井上貴裕（体育2）硬式野球部▽会計局長・和田千穂（日本文学2）ソフトテニス部▽総務局長・深尾江莉香（心理2）空手道部▽企画運営局・浅井優介（体育1）アルティメット部▽編集局・中西佑輔（体育1）陸上競技部▽広報局兼書記局・藤村卓弥（法律1）少林寺拳法部　（敬称略）

体育会の新執行部発足

（準硬式野球部）

「日本全国、世界中へ 中京大学の名前を」

幹事長　森　順平　（体育3）

私たち第五十四代体育会幹事会は〇九年十一月四日の役員改選で正式に発足した。

中京大学体育会の歴史は五十数年あり、輝かしい伝統もある。それらは先輩たちの活躍があったからこそである。

私たち在学生は中京大学の名前が日本全国や世界にもっと広がっていくよう体育会所属のクラブ員全員で力を合わせ、高い気持ちを持って活動していこうと考えている。

また地域の方にも中京大学体育会のファンになってこれまで以上に応援していただけるように頑張っていきたい。

会全体の結束強める

リーダーズキャンプ

体育会は二月十五―十七日、大阪府佐野市で第四十三回体育会リーダーズキャンプを行った。

テーマは「発見」。初日は元バレーボール五輪代表で学生課職員の青山繁さんに現役時代やスペシャリストとジェネラリストについて講演していただいた。二日目は「体育会の良い点・悪い点」「新入生が体育会に入会したくなるようなアピールポイント」について意見交換を行った。

親睦会などで他のクラブや幹事会との交流を深め、体育会全体の結束も強めた。

今回出た意見を参考に、また学生課やスポーツ支援課等とも連携を図り、体育会の発展に繋げたい。

（広報局・法律1・藤村　卓弥）

意見交換する体育会会員の学生たち

著書紹介

ス作家が自分の出自とは大きく異なる中国系ユダヤ人という主人公を据え、「直筆商」という特殊な業界に焦点を当てることで何を描こうとしたのか探っている。

Rodopi社刊。本体€85

09年度 体育会功労者表彰

個人36人と5団体

体育会（竹内外夫会長）は十二月十九日、豊田キャンパスで、国際大会に出場した選手と全国規模の大会で個人三位または団体ベスト4以上の成績を収めた個人三十六人と五団体を、体育会の発展に貢献した功労者として表彰した。表彰されたのは次の皆さん。（敬称略）

国際大会に出場した選手
全国規模大会で個人は3位以上
団体はベスト4以上の成績

個人の部

▼陸上競技部＝田村雄志（体育修士2）、北山慎一、奥口博崇、川崎卓也、服部珠美（体育2）、星畑朗人、市川華寛子（体育4）、上田祐貴、山下洸、江島成美（体育3）、田菜（体育1）▼水泳部＝大野孝之（社会4）、箕成貴之（体育4）、島田良祐、瀬田寛人、長谷川菜月（体育3）、冨田尚弥、白井裕樹、岩下なつみ、小野口由夏（体育2）、伊藤健太（体育1）▼スキー競技部＝船渡裕太、伊藤みき（体育4）▼自転車競技部＝和田見里美（体育4）、大西周太（体育3）、中根英登（体育1）▼ウエイトリフティング部＝有松海人（体育1）、福本真莉恵（現代社会1）▼スケート部＝安藤美姫（体育4）、小塚崇彦（体育3）、清水小百合（経営3）、浅田真央（体育1）▼バスケットボール部＝河合俊宏（体育2）▼アルティメット部＝黒野将司（体育4）▼剣道部＝矢田直子（体育4）▼フェンシング部＝濱田真帆（社会4）

団体の部

▼水泳部＝大野孝之（社会4）、武岡辰也、箕成貴之、松村彩加（体育4）、小西希沙、長谷川菜月（体育3）、岩下なつみ、小野口由夏（体育2）、伊藤健太、小松原彩香（体育1）▼バレーボール部＝清水啓輔、土屋宝士（体育4）▼ソフトテニス部＝山崎智帆、蔵元惟子（体育4）、宮田菜奈（社会4）、阿知波希、加納亜由美（体育3）、岡本花実（現代社会3）、藪下裕梨（体育2）、和田千穂（日本文学2）▼アルティメット部男子＝片山雄介、黒野将司、福田慧、湯本章大（体育4）、石走卓也、古庄潤平、柴田晃一（体育3）、須崎立也、堀越博志（現代社会3）、雨森直人、田中孝明（体育2）、安江成樹（現代社会2）、浅井優介、馬瀬開、川松篤、近藤信吾、竹内裕平、田邉圭祐、花本直也（体育1）、甲斐昌平（健康1）、山田大輔（現代社会1）、▼同女子＝三宅佐都美、大久保香那、林愛子（体育4）、上岡愛（身体シ4）、稲垣和華羽、市来麻帆、小林久美、久田菜未、福沢舞子（体育3）、大村ひろみ、風岡愛、田中花奈、出來香織、成瀬祥子、早川麻衣子、平井美帆（健康3）、新井真菜美、丸山由紀、纐纈桜子、水野江里加（健康2）、河野雅、川崎亜里沙、木村友紀、荒川太陽、野木敬太（体育1）、久野瑞絵、山尾久美子（健康1）

充実・向上目指し躍動する文化会

第56代 文化会執行部

任期 09年12月から1年間

幹事長・鈴木翼(法律3)考古学研究会▽副幹事長・辻中広志(心理3)写真部▽学術委員長・志水久之(法律3)法律研究会LAWPRAY▽芸文委員長・上山大介(日本文学3)漫画研究会▽豊田委員長・大崎友貴(現代社会3)演劇部㊋BEGIN THE KID▽会計局長・吉崎達也(心理3)児童文化研究会▽企画運営局長・澤井あづさ(言語表現3)司会放送部▽総務局長・三浦悠(法律2)漫画研究会▽豊田役員総務・渡邊大資(情報シ2)出版部▽書記局長・江上生奈(心理2)中京シネマクラブ▽豊田役員庶務・長野勇太(情報メ3)美術クラブ▽議長・大黒冴璃(現代社会3)児童福祉活動部▽八事監査・新木康平(法律3)考古学研究会、今枝祐輔(言語表現3)司会放送部、若松嘉奈(心理2)中京シネマクラブ▽豊田監査・高木佳亮(現代社会3)放送クラブTMP　(敬称略)

「相互扶助の関係築き成果に繋げていこう」

幹事長　鈴木　翼　(法律3)

〈考古学研究会〉

私たち第五十六代執行部は、長い伝統の中で作り上げてきたものを守りつつも、そのまま踏襲するのではなく、新たな事にも積極的に取り組み、行動していきたい。

文化会には歴史や伝統のあるクラブが多く、記念公演等も行っている。発表の場に向けて文化会員たちは活動内容を更に向上させようと日々努力している。そういった各クラブの活動、努力を互いに理解しあえる機会を作り、クラブ会員同士の結びつきを強める事で相互扶助の関係を築き、成果に繋げていきたい。

文化会の更なる発展を念頭に、部活動が円滑にできるよう視野を広く持ち、サポートしていきたい。

第48回 梅村学園美術展

2月2～7日 名古屋市博物館

第四十八回梅村学園美術展が二月二―七日、名古屋市博物館で開かれた。中京大学と中京大中京高校それぞれの書道部・写真部・美術部による合同美術展で、書・写真・絵画の三分野、合計百四作品(大学七十、高校三十四)が展示された。

書道部

個人が最も得意とする書体の作品を発表した。例年は一―三年生の部員で行うが、今年は四年生にも賛助をお願いして、より充実した形で作品を展開することに成功した。中京大中京高校の作品は、部員全員で一つの大作を作り上げ、結束力の強さがうかがえた。

何より多くの方に足を運んでいただき、喜びに堪えない気持ちである。梅美展で得たことを今後の作品制作に生かしていきたい。

(経済2・和泉　宏直)

写真部

テーマ作品と自由作品の一人二作品を出展した。

テーマ作品は、一年生が個人テーマを、二―四年生がそれぞれ「想い出」「道」「青春」の学年別テーマを決めて撮影。来場者から「作者の感性が伝わってきて面白い」などの感想が述べられた。

自由作品はこれまでの作品から選んで出展。部員一人ひとりの個性が生き生きと表現されていた。

来場者の意見や感想を今後の作品制作に生かしたい。

(心理2・宮之原　実)

堀江一宏さん(経済2)の作品「学び舎」

美術部

風景画、空想画、人物画など様々な様式の作品を展示した。キャンバスも大きい物から小さい物まであり、色使いも様々で個人の特徴と持ち味が良く出ていた。来場者からは高い評価をいただいた。

三クラブが一緒に展示し、違った趣の芸術作品が並んだことで、良い美術展になった。

今回得たものを次に生かし、実りのある作品制作を今後も行っていきたい。

(日本文学2・大友　春奈)

西村佳菜子さん(日本文学3)の作品「裏庭」

28クラブの139人参加

リーダーズキャンプ

熱心に話し合うリーダーたち

文化会は二月十八―二十日、冬季リーダーズキャンプを静岡市で行った。所属クラブ三十中二十八クラブ、百三十九人が参加した。

初日の合同会議では、文化会を深く知ってもらうために、組織図を用いて説明した。インタビュー形式で現役員の紹介も行った。クラブ、学年を越えて「上級生になるにあたって」の議題で話し合った時には、四年生が先輩として心掛けたことを一年生に伝えた。

会議のほか、体験学習やフィールドワークで交流も深めた。今回得たことが、今後の活動に繋がることを役員一同願っている。

(企画運営局長・言語表現3・澤井　あづさ)

日本の唄メドレーで

和楽部 第8回定期演奏会

十二月十二日に第八回定期演奏会を名古屋キャンパスで開いた。

今回は琴を三曲、三味線を二曲、そして琴・三味線合同で一曲を演奏した。三味線の曲と合同の曲では、ご指導いただいている先生に唄っていただいた。合同で演奏した曲は「さくらさくら」などの日本の唄をメドレーにしたものだったので、ご来場の皆様も一緒に楽しんでいただけたと思う。

この演奏会で学んだことをこれからの活動にいかし、良い音楽を作り上げていくとともに、和楽の良さをより多くの方に知っていただけるよう努めていきたい。

(経済2・後藤　由貴奈)

各クラブ相次ぎ発表会開く

3部構成ステージ披露

吹奏楽団
第26回定期演奏会

十二月十九日に愛知県・大府市勤労文化会館もちのきホールで第二十六回定期演奏会を行った。忙しい時期にも関わらず、たくさんのお客様が足を運んでくださった。

今年は団目標を「追求」とし、活動してきた。一年間の集大成である定期演奏会では、お客様に楽しんでいただけるように「オープニングステージ」「企画ステージ」「シンフォニックステージ」の三部構成のステージを披露した。

今回の演奏会を催すにあたり、多大なご支援・ご協力をくださった方や会場にお越しくださったお客様に対して、団員一同、感謝の気持ちでいっぱいだ。

（言語表現3・山口　友輔）

ハーモニーを披露した吹奏楽団の部員たち

ジャズの13名曲を演奏

軽音楽部
第37回リサイタル

軽音楽部New Sounds Jazz Orchestraは十二月二十七日、名古屋・天白文化小劇場で第三十七回リサイタルを開き、十七人編成のビッグバンド形式によるジャズ演奏を披露した。

お客様に演奏を楽しんでいただけるよう、毎日熱のこもった練習を行った。当日は、たくさんのお客様にご来場いただき、ジャズのスタンダードナンバーからあまり知られていない名曲まで全十三曲を演奏した。一年間の集大成として存分に発表でき、部員も心から楽しんで演奏した。

リサイタル開催にあたり、多大なるご支援やご協力をしていただいた方や、会場にお越しいただいた方に感謝の気持ちでいっぱいである。

（心理3・鵜飼　智博）

17人編成のビッグバンド形式で演奏した軽音楽部の部員たち

笑い沸くコメディーも

演劇部劇団いかづち
師走公演

名古屋・伏見のG/pitで十二月五、六日、師走公演『Short×Short』を行った。百六十六人のお客様にお越しいただき、全四ステージのうち二ステージは会場がほぼ満席になった。

今回の公演は十二のショートストーリーで構成。はちゃめちゃコメディーやせつなくしっとりとした話が織り込まれ、客席からは笑い声も聞かれ、お客様に存分に楽しんでいただけたと思う。

三年生はこの公演で引退し、次の公演からは一、二年生でやっていくことになる。不安はあるが精一杯がんばっていくので、これからもよろしくお願いします。

（心理2・鏡　有里子）

12のショートストーリーを演じる劇団いかづちの部員たち

子どもたちと楽しく…

児童福祉活動部
クリスマス会人形劇公演

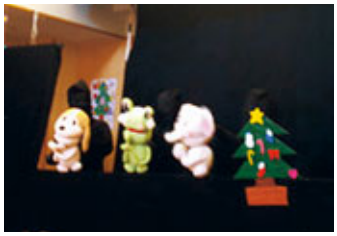
十二月二十四日、社会福祉法人昭徳会小原学園（知的障害児施設、豊田市）で行われたクリスマス会で人形劇を公演した。

人形劇はオリジナルストーリーで、冬眠のためにクリスマスを知らない友だちをパーティーに誘うかわいい動物たちのお話。途中で人形が子どもたちに話しかけると、元気いっぱいな声が返ってきた。

公演が終わると子どもたちから手作りのクリスマスカードが手渡された。お礼に名札をプレゼントするとキラキラした笑顔になった。

児童福祉活動部は大学祭とクリスマス会シーズンの年二回、人形劇に取り組んでいる。これからも子どもたちに楽しんでもらえる活動をしていきたい。

（現代社会3・尾崎　公美）



人形劇に登場の動物たち

幅広いジャンルで

ギターアンサンブル
第40回定期演奏会

十一月二十日に名古屋・天白文化小劇場で、第四十回定期演奏会を開いた。クラシックや映画音楽、ポップスなど、様々なジャンルから選曲し、幅広い年代のお客様に楽しんでいただけるように心がけた。

当日は一年間の集大成として存分に発表ができ、また部員自身も楽しみながら演奏ができた。ご来場くださったお客様にも楽しんでいただけたと思う。

この演奏会で学んだことをこれからの活動に生かし、より多くの方にクラシックギターの良さを伝えられるよう努力していきたい。ご支援、ご協力いただいた方やお客様に、部員一同、心から感謝している。

（心理3・藤井　宏敏）

クラシックギターで演奏するギターアンサンブルの部員たち

団員が一丸、3部構成で

混声合唱団
第41回定期演奏会

二月十三日に名古屋市・熱田文化小劇場で第四十一回定期演奏会を行った。

数年前に休団から復活し、昨年、四十回目の記念演奏会～Re:Take off～を開いた。今回はさらに気流に乗って遠くまで飛んで行くことを願って、サブタイトルを「上昇気流」とした。

第一部は副指揮者の原田康太さんによる混声合唱とピアノの「花に寄せて」、第二部は演劇と馴染みのある曲を交えたアトラクションステージ、第三部は正指揮者の天野聖子さんによる混声合唱とピアノの「おわりのない海」。

団員が一丸となり、一年間の集大成を発表。すばらしい演奏会になった。

（経済2・道場　崇弘）

3つのステージを披露した混声合唱団

三重中京大学ニュース

佐藤昭学長を再選

2期目　10年4月から

佐藤学長

三重中京大学・同短期大学部は一月十三日、任期満了（一〇年三月三十一日）に伴う学長選挙を行い、佐藤昭学長（現代法経学部教授）を再選した。任期は一〇年四月一日から四年間。

佐藤学長は六十歳。中京大学文学部英文学科卒業後、日本大学大学院文学研究科英文学専攻修了。七七年松阪女子短期大学（現・三重中京大学短期大学部）講師。松阪大学（現・三重中京大学）講師、助教授を経て九二年教授。教学部長、学部長を歴任。専門は英文学。

任期を一年残して退任した前学長の後任選挙で選任され、〇九年四月に学長に就任した。

現代法経学部長　高橋教授を再選

任期満了（一〇年三月三十一日）に伴う現代法経学部長選挙を行い、高橋保幸教授（60）を選出した。前学部長の学長就任に伴い、〇九年四月から学部長を務めており二期目。任期は一〇年四月一日から二年間。

東京工業大学工学部社会工学科卒。財団法人日本都市センター主任研究員を経て〇二年松阪大学（現・三重中京大学）教授。専門は都市行政論、都市政策論。

名古屋国税局の室長　税の大切さアピール

税の大切さを話す井口室長

名古屋国税局の井口眞孝・国税広報広聴室長が十一月二十四日、現代法経学部二―四年生の授業「財政学」で講演した。

井口室長は「IT化・国際化と税」と題し、税金の使途や税務署の仕事について説明した後、国税局が納税者サービスを念頭に取り組んでいるITを活用した確定申告システムなどを説明した。また、トラブルが生じやすいアルバイト賃金の支払伝票やインターネットを利用して物品を購入した時の請求伝票のチェック方法など学生生活に身近な事例も取り上げ、「伝票には必ず目を通し、保管しておく習慣をつけてほしい」と呼びかけた。

ビデオ映画では、脱税を摘発する国税専門官の査察調査の実態を紹介。巧妙な脱税手口を暴く〝マルサ〟の活躍を通して、税の大切さをアピールしていた。

文部科学省の委託事業　「社会人の学び直しプログラム」が修了、26人に証書

三重中京大学短期大学部が〇八年度から実施していた文部科学省委託事業「主体的な学びの再生と復活を目指した家族援助力養成教育プログラム」が、二年間の全日程を終え、一月十日、松阪市内のホテルで修了式が行われた。

この事業は、同省が提唱した「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択された。こども学科の新川泰弘准教授や学外の専門家を講師に学び直し講座を開講し、保育者として現場復帰を希望している休職中の有資格者やキャリアアップを図る保育士ら二十七人が受講した。

二年間でファミリーソーシャルワークやカウンセリングを学ぶ講座十三回、地域子育てセンターなどでの実習・臨床学習六回、一般市民にも開放した講演会やシンポジウムも三回開いた。

修了式では、二十六人に佐藤昭学長から修了証書が贈られ、受講生の代表者が「様々な角度から子育て支援のアプローチができました」と謝辞を述べた。

廃材バットで安全階段

折れたバットでできた土手の階段通路

三重中京大学の第五駐車場（学生用）から野球グラウンド「梅村メモリアルフィールド」に繋がる土手の斜面に、折れた硬式用野球バット百本を利用した階段通路ができた。

高さ三㍍の土手を行き来する野球部員を目撃した管財課職員が、「滑ってけがでもしたら大変」と、折れたり、ひびが入って使えなくなり、グラウンド隅に積まれていた廃材バットを材料にした安全な通路づくりを思いついた。

バットの先端や握り部分を上にして、土留め用に一段八―十本を土手に打ち込み、十一段の階段通路を完成させた。野球部員たちは、愛用バットが職員のアイデアで自分たちの安全を守る階段通路に再利用されて感謝している。

京都で学ぶ　短期大学部二年生

短期大学部食物栄養学科二年生全員が一月十五日、京都市の京菓子店・甘春堂本店と京料理店・東観荘で、銘菓づくりと会席料理のマナーを学んだ。古都の台所を賄う京都錦市場も視察した。

C・スクエア　中京大学名古屋キャンパスのアートギャラリー

10年度の企画展開催予定

C・スクエアは名古屋キャンパス4号館1階にあります。ガレリアの大階段を上がった右側です。

※下記予定は変更する場合があります。
※下記はC・スクエア独自の企画であり、他に学生作品の展示なども行います。
※企画展会期中に対談、トークなど関連イベントを開催します。
※入場無料。日曜・祝日（但し、開講日は開館）・中京大学休業日は原則休館です。

第95回　4月12日（月）～5月15日（土）
山本太郎展　桜川／隅田川　【絵画・映像】
ほとんど同じプロットで結末が異なる、能の「桜川」と「隅田川」をテーマに描いた新作展。2007年VOCA賞受賞者。

第96回　5月24日（月）～6月19日（土）
港千尋展　レヴィ=ストロースの庭　【写真・映像】
20世紀の知性を代表する社会人類学者へのインタビューを機に始まった、神話世界にゆかりの大地を巡る写真展。

第97回　6月28日（月）～7月24日（土）
衣川泰典・林勇気展　ふれて／みる　【絵画・アニメーション】
公募企画で選ばれた、画家・版画家とアニメーション・映像作家のコラボレーション。ともに身辺を題材に表現。

第98回　9月21日（火）～10月23日（土）
冨岡奈津江展　【陶】
公募企画で選ばれた若い陶の作家。ダイナミックでありながらディテイルにもこだわった動物シリーズ立体作品。

第99回　11月4日（木）～11月20日（土）
俊寛展　【切り絵】
1993年中京大学経済学部卒。96年フィレンツェで制作活動に入る。イタリアの職人たちを描いたシリーズを公開。

第100回　11月29日（月）～1月8日（土）
鉛筆画の世界展　【絵画・アニメーション】
世代の異なる7人の作家、秋山泉、木下晋、鴻池朋子、篠田教夫、建石修志、真島直子、安冨洋貴が鉛筆による表現の可能性を追求。

同窓生が多数出席して開かれた名刺交換会

同窓生同士が親交 名刺交換会

年々増え 6回目 450人が出席

梅村総長の叙勲も祝賀

同窓生同士が年代を超えて親交を深める校友会本部主催「第六回同窓生名刺交換会」が一月二十三日、名古屋観光ホテルで開かれた。今年は旭日重光章を受章した梅村清弘総長・理事長の叙勲祝賀会も兼ねて催され、前年より五十人ほど多い四百五十人が出席した。

名刺交換会は〇五年に第一回を開催。出席者は年を追って増え、年一回の開催を楽しみに待つ同窓生も多くなった。

土方同窓会長（左）から記念品を贈られる梅村総長

第一部の講演会に続いて開かれた名刺交換会では、土方清同窓会長が開会の挨拶で、同窓生が十万人を超え、それぞれ各界で活躍していることを報告。同窓生を代表して梅村総長の叙勲を祝福し、同窓生からの記念品を贈った。

梅村総長は「同窓生の皆さんの活躍とご支援で母校が発展しました。私の受賞は皆さんのおかげです」と謝意を述べた。

北川薫学長は挨拶で、教職員一体となって大学の一層のレベルアップに取り組んでいることを説明し、同窓生の協力も求めた。この後、梅村清英副理事長（同窓会副会長）の音頭で乾杯し、名刺交換の懇親会に移った。懇親会では名刺を百枚近く交換した人もいた。

◇

講演会の講師はスポーツジャーナリスト二宮清純さん。長年、スポーツ選手を取材してきた二宮さんは「勝者の思考法」のタイトルで、「スポーツも人生も一緒。挑戦する気持ちのないところに勝利はない。物事を始めるのに、時期尚早だ、前例がないから、などと言っていては勝者になれない」と語った。

公開講座

公開講座の開催はホームページで順次ご案内しています。

健康・余暇・スポーツシリーズ㉓

生涯現役！

プロゴルファー
杉原 輝雄さん

生涯現役を夢に描いて トレーニングに励む

「ゴルフとの出会いは、小遣い稼ぎでキャディをした小学五年の時。すっかりゴルフに魅せられ、中学ではすでにプロゴルファーになろうと心に決めていた。ただ、なかなか人に打ち明けられず、プレーを見ていれば勉強になると考え、ゴルフ場でキャディや洗濯係をしながら練習していた」

「キャディマスターの養成制度ができた時、勇気を出して『プロになりたい』と知人を通じて頼み、本格的に練習できることになった。クラブを借りてプロの月例会に参加させてもらいながら、二十歳で念願のプロになった。五年後、幸運にも日本オープンで初優勝。これが後の五十四勝につながったと思う。そして何より、多くの人の協力や援助があったからこそ、今までプロとしてやってこれた」

「僕はよく後輩らに『思い切っていけ、嫁はんやろ！』と発破をかける。失敗を恐れず挑む勇気が必要だ。もちろん、思い切る前には、念入りに状況を判断しクラブを選択する。そして、最後のパットまで丁寧に打つ。とはいえ、このパットが入れば優勝、外せばプレーオフという時の心境といったら…、やはり足が震える」

「ボールというものは、行きたい所へしか行かない。人間は、健康でさえいれば、何とかなる。取り返すこともできる。だから、諦めず、しかし無理はせず、心身の健康のために時には勇気をもって休むこと。そういう思い切りも必要だ」

「今年七十三歳の僕が目標を掲げてプレーできるのは、家族をはじめ支えてくれる人たちがいるおかげだ。そのことに感謝し、応えたい。そういう気持ちで人生を過ごしていれば、周囲の人も影響を受けてまた頑張ってくださるのではないか。だから、僕は生涯現役を夢に描きながらトレーニングに励んでいる」

（2月17日・名古屋キャンパス431教室）

小川 裕司さん C・スクエアで 5回目の写真展

北九州市在住の小川裕司さん（写真）が一月九―十四日、名古屋キャンパスのC・スクエアでは五回目となる写真展を開いた。

小川さんは日本郵船勤務で海外駐在が長く、以前から本学学生も海外留学に際してお世話になっていた。これまでも駐在先の風物を趣味の写真に収めては展覧会を開いてきたが、今回は九州の玄関口として栄え、レトロな景観の残っている門司港がモチーフ。ショートエッセイを付した写真パネル四十点とプリント二十九点による展観である。来場者は学生や教職員はもとより、市民の姿も多く見られた。

訃報

元教養部教授
本多 秀英さん
（ほんだ・しゅうえい）
12月8日逝去されました。73歳。86～06年在職。英語学。

元学園事務局次長
三浦 道夫さん
（みうら・みちお）
12月27日逝去されました。81歳。81～94年在職。

元商学部教授
小牧 聖徳さん
（こまき・まさのり）
12月27日逝去されました。85歳。90～95年在職。銀行論。

元事務職員
三輪田 茂さん
（みわた・しげる）
1月24日逝去されました。69歳。中京高校（現附属中京高校）教諭を経て92～06年在職。

元豊田事務局次長
高木 敏幸さん
（たかぎ・としゆき）
3月12日逝去されました。83歳。73～92年在職。

浅田真央選手の五輪報告会

豊田キャンパス

総長、学長…学生600人「銀メダル」獲得を讃える

浅田選手（中央）の銀メダルを讃える梅村総長（浅田選手の右）、北川学長（同左）、湯浅体育学部長（右端）、竹内体育会長（左端）

「ソチ五輪を目指して頑張ります」浅田選手

バンクーバー五輪の女子フィギュアスケートで銀メダルを獲得した浅田真央選手（体育1）の五輪報告会が三月三日、豊田キャンパス411教室で開かれた。

梅村清弘総長、北川薫学長、湯浅景元体育学部長、竹内外夫体育会長と学生約六百人が出席。浅田選手は大きな拍手の中、銀メダルを胸に入場した。

初めに梅村総長、北川学長らが「トリプルアクセルを何度も成功させて、みんなが感動しました」「これからも女子フィギュアの先頭に立って、ソチ五輪も頑張って」と讃え、激励した。

体育会の代表やスケート部の先輩らから花束を贈られた後、浅田選手は「大学に帰りました。応援ありがとうございました。大学で一生懸命に練習したので、自信を持って滑ることができました。ソチ五輪を目指してこれからも頑張ります」と語り、一段と大きな拍手を受けた。

会場の学生との質疑応答もあり、「緊張をほぐす秘訣は」との質問に、「しっかり練習すること」「練習すれば自信も出るので」と笑顔で答えていた。

五輪開催中、大スクリーンで本学4選手に声援

バンクーバー五輪に出場した本学四選手の応援会が、豊田キャンパス411教室で三回（延べ三日間）開かれ、毎回、大勢の学生や教職員、近隣の人たちが会場を埋めて熱心に応援した。

二月十四日（日本時間＝以下同）の女子モーグル伊藤みき選手（体育4）の決勝には四百人が出席。大スクリーンに映し出された伊藤選手をチアスティックで応援し、前回トリノを上回る十二位の成績を讃えた。

同十九日の男子フィギュアスケート小塚崇彦選手（体育3）のフリー競技にも四百人が詰め掛けた。初出場で四回転ジャンプを成功させ、八位入賞を果たした小塚選手の演技に大きな拍手と声援を送った。

同二十六日の女子フィギュアスケート安藤美姫選手（体育4）と浅田真央選手（体育1）のフリー競技の応援会には八百人が駆けつけた。安藤選手はほぼノーミスの滑走で華麗にクレオパトラを演じきって五位入賞。浅田選手は自己最高得点をマークして銀メダルを獲得。会場は二選手の最高の演技に魅了され、名前のコールとチアスティックで健闘を讃えた。

伊藤みき選手の応援会

小塚崇彦選手の応援会

安藤美姫選手、浅田真央選手の応援会

スポーツの記録

体育会クラブの主な試合結果

全日本選手権で浅田選手4連覇

スケート部（フィギュア）

全日本選手権（12月25―27日、大阪）女子シングル・浅田真央選手（体育1）優勝（4連覇）、安藤美姫選手（体育4）4位、男子シングル・小塚崇彦選手（体育3）3位

日本学生氷上選手権（1月5―8日、栃木）学校対抗クラスA・女子4位、男子8位

濱田真帆選手が全日本で2位

フェンシング部

全日本選手権（12月24―27日、千葉）女子個人サーブル・濱田真帆選手（社会4）2位

清水小百合選手全日本総合8位

スケート部（ショートトラック）

全日本選手権（12月19、20日、長野）清水小百合選手（経営3）総合8位

ウエイトリフティング部

全日本大学対抗女子選手権（12月26日、神奈川）福本真莉恵選手（現社1）53kg級5位

船渡裕太選手は全日本学生4位

スキー競技部

全日本学生選手権（1月10―17日、長野）男子総合10位、女子総合15位ジャンプ・船渡裕太選手（体育4）4位、ジャンプ（団体）高橋史也選手（体育4）・高野浩昭選手（体育2）・船渡選手6位、コンバインド・高野選手7位

サッカー部

全日本フェスティバル（12月9―13日、静岡）2回戦敗退

全日本大学選手権（12月19―1月6日、東京）1回戦敗退

アーチェリー部

全日本学生室内個人選手権（2月4日、大阪）小池麻実選手（体育2）21位

和田見里美選手が最優秀選手賞

自転車競技部

和田見里美選手（体育4）日本学生自転車競技連盟から女子トラック部門の最優秀選手賞

アメリカンフットボール部

五十嵐邦雄選手（社会4）東海学生連盟から優秀ディフェンスバックス賞

体育学部創作ダンス発表会

十二月二十日に中京大学文化市民会館で、〇九年度体育学部創作ダンス発表会が行われた。（写真）

発表会は体育学部の体育実技・舞踊の授業の一環であり、舞踊を受講した学生と、有志団体の三十三チームが出演し、創作ダンスを披露した。

運営は体育会ダンス部と、和光ゼミナールが中心となって行った。私自身、運営に携わり、本番を終えた学生たちの笑顔を間近で見ることができ、スタッフとしてのやりがいを感じた。

仲間の声援を受けて、舞台で生き生きと表現する中京大学生のパワー溢れる姿をご来場の多くの方に見ていただくことができ、発表会は成功だった。

（体育4・鈴木　ありさ）

本紙は森林循環紙を使用しています。